

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立椎原公民館	番号	34
--------	----------	-----------	----	----

平成 19 年度

施設評価調書

施設の名称.....椎 原 公 民 館

所管担当課.....下田市教育委員会
生涯学習課

平成 19 年 11 月

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立椎原公民館	番号	34
--------	----------	-----------	----	----

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立椎原公民館		2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係				
3 所在地	下田市椎原 230 番地		4 設置年月	昭和 31 年 12 月 16 日				
5 総合計画の 位置付け	人財づくり		自ら学ぶ歴史のまちづくり		生涯教育			
	施策体系		学習環境の整備		学習施設の整備・充実			
	主要事業		公民館活動推進事業		地域に密着した学習プログラムの実施			
6 設置目的	社会教育法第 20 条の目的を達成するため 第 20 条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。							
7 設置根拠	下田市立公民館設置管理条例							
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 369 m ² (借地)				構造 木造平家建		
		建物面積 55.78 m ²						
	集会室・談話室(和室)・調理室・便所							
	実施事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座の実施 ・その他「社会教育法第 22 条(公民館の事業)」に基づくもの 						
	料金体系	料金区分	公民館使用料					
		主な料金	午前(9:00~12:00)		昼間(13:00~17:00)		夜間(18:00~21:00)	
			使用単位	普通	入場料	普通	入場料	普通
使用料	徴収	使用料	徴収	使用料	徴収			
1回	1,000円	2,000円	1,000円	2,000円	2,000円	4,000円		
減免内容	(使用料の免除) 第 10 条 市長は、特に必要があると認めるときは、別表に定める使用料を減免することができる。 (1) 市の主催で使用するとき、又は国の機関若しくは地方公共団体が市と共催で使用するとき。(全額) (2) 公共団体の主催で法第 20 条の目的に基づき住民のために使用するとき、又は市内の保育所、幼稚園若しくは小・中学校の主催で、園児、児童、若しくは生徒の教育のために使用するとき。(全額) (3) 公立小・中学校(市内の公立小・中学校を除く。)若しくは公立高等学校の主催で、その目的が教育のために使用するとき、又は委員会が認めた社会教育関係団体の主催で、その目的が当該団体の設立目的のために使用するとき。(5割減額) (4) 国の機関又は地方公共団体の主催で、その目的が公共のために使用するとき。(3割減額) 全各号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。(3割減額)							
利用料金制度	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>							
施設運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営							
	指定管理者制度	指定管理者						
一部委託	委託内容							
直接従事職員	下田市職員数 館長 1名							
9 市内の類似施設	下田市所有	他 11 公民館(社会教育法の規定による施設)						
	民間所有	地区集会所等(自治会管理の地域コミュニティ施設)						

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立椎原公民館	番号	34
--------	----------	-----------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成18年度末残高			(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格1円 ・新設翌年度から償却 ・耐用年数 24年
	土地取得費		土地残高			
	建物取得費	不詳	建物減価償却後残高		0	
	財源内訳					
	国・県支出金					
	市債		市債残高		0	
	一般財源					
	寄附金等					
	物品(*万円以上)		物品減価償却後残高			
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H17年度決算 (12公民館)	H18年度決算 (12公民館)	H18年度決算 椎原公民館	H19年度予算 (12公民館)
	収入	使用料	1,377,600	1,398,902	0	1,300,000
	収入合計		1,317,900	1,398,902	0	1,300,000
	支出	1節 報酬	1,652,000	1,620,000	108,000	1,708,000
		7節 賃金	1,903,200	1,671,400	0	1,672,000
		8節 報償費	403,000	367,500	15,000	450,000
		9節 旅費	80,534	24,194	1,332	55,000
		11節 需用費	9,271,197	5,522,116	59,579	5,828,000
		消耗品費	354,895	200,000	240	198,000
		印刷製本費	27,000	0	0	72,000
		光熱水費	4,668,116	4,389,044	29,792	4,920,000
		下水道費	89,079	81,152	0	150,000
		燃料費	35,724	29,714	0	35,000
		修繕料	4,096,383	822,206	29,547	453,000
		12節 役務費	1,417,258	1,074,142	49,763	1,063,000
		13節 委託料	562,468	750,237	6,090	766,000
		14節 使用料	197,819	197,819	0	206,000
	19節 負担金	179,550	169,800	13,650	227,000	
	支出合計		15,667,026	11,397,208	253,414	11,975,000
	減価償却費		1,388,063	10,388,163	0	10,388,163
市債利子		2,750,279	2,401,932	0	2,037,703	
事務に係る市職人件費		4,200,492	3,545,532	295,461	3,821,160	
下田市負担年間総経費		31,628,260	26,333,933	548,875	26,922,026	
備考	人件費は、1公民館を1/20人工として、職員人件費平均から算出したもの 事務に係る市職人件費=(職員人件費÷職員数)×1/20人工×公民館数					
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H16年度決算	H17年度決算	H18年度決算	H19年度
		利用者数	310人	683人	858人	人
		参考:利用単位当たり市負担額		766.75円	639.71円	円
	休館日	祝日、12/28から1/3まで				
	使用時間	午前9時から午後9時まで				
13 利用者満足度調査	実施の有無	有 否 無		調査結果		
	直近の実施時期					
	調査手法					
	調査数					

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立椎原公民館	番号	34
--------	----------	-----------	----	----

業績評価

1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度 予算
	利用者数 の目標値	人	840人	840人	840人	
	" の実績	人	310人	683人	858人	
	目標達成度	%	98.92%	36.90%	102.14%	
選択した指標	成果指標 <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由 施設設置目的の「住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与」を計ることが困難であるため、施設利用者数を使用する。					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標					
	代替指標	施設利用者数				

(参考)

活動指標(施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標)

活動指標			区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
活動指標	目標指標	公民館講座受講者数(実数) 定期開催事業の参加者実数	目標値	人	93人	160人	130人	
			実績値	人	100人	93人	38人	
			達成度	%	107.52%	58.12%	29.23%	
活動指標	目標指標の考え方	公民館講座は利用率向上を目的としたものではなく、必ずしも達成度を検証する数値になるとも限らないが、施設設置目的に沿った主催事業であるため活動指標として設定する。						
活動指標	目標指標	社会教育関係団体利用者数 施設利用者数のうち社会教育関係団体の利用人数	目標値	人	100人	100人	100人	100人
			実績値	人	0	0	0	
			達成度	%	0	0	0	
活動指標	目標指標の考え方	社会教育・生涯学習行政を推進していく上で、社会教育関係団体の自主的な活動は重要視される。活動拠点は集合しやすさから市中心部に偏りがちではあるが、公民館が社会教育施設として活用されている一つの指標として設定する。						
活動指標	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
活動指標	目標指標の考え方							

平成19年度

施設名(愛称名) 下田市立椎原公民館

番号 34

2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H17年度 12公民館 平均値	H18年度 12公民館 平均値	H18年度	H19年度
	施設の総利用者数等		人	4,721	4,425	858	
	年間経費	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円	1,655,626	1,245,228	548,875	
	利用単位当たり経費	÷	円/人	350.69	281.40	639.71	
総利用者数等の考え方 施設の総利用者数等について用いた指標について記載してください。	総利用者数を年間経費で割り返して、効率性を計る。	備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。					

その他の指標			区分	単位	H17年度 12公民館 平均値	H18年度 12公民館 平均値	H18年度	H19年度
目標指数	目標指数	光熱水費	目標値	円				
			実績値	円	389,009	365,753	29,792	
			達成度	%				
目標指数の考え方	電気、ガス、水道の料金を節約することで効率性を計る。 目標値算定：H17の料金の90%とする。							
目標指数	目標指数	消耗品費	目標値	円				
			実績値	円	29,574	16,666	240	
			達成度	%				
目標指数の考え方	消耗品費を節約することで効率性を計る。 目標値算定：H17の料金の90%とする。							
目標指数	目標指数	委託料	目標値	円				
			実績値	円	46,872	62,519	6,090	
			達成度	%				
目標指数の考え方	委託料を節約することで効率性を計る。 目標値算定：H17の料金の90%とする。							

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H17年度 12公民館	H18年度 12公民館	H18年度
	有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	千円	19,867,518	14,942,740	548,875
	受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	千円	1,377,600	1,398,902	0
	受益者負担比率	÷	%	6.93	9.36	0
	補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	千円	8,023,600	6,741,902	146,000
	補正受益者負担比率	÷	%	40.38	45.11	26.59

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立椎原公民館	番号	34
--------	----------	-----------	----	----

施設の現状分析

判断視点項目		施設の状況	
施設方向性の判断視点	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	されている。
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	地域の子ども会活動や地域住民の会合などに活用されている。
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか	地域住民にとってはなくてはならない施設。
	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどうなっているのか	必要に応じた修繕を実施。
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	公民館運営審議会や公民館長会議を通じて情報を得ている。
	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	公民館としては競合していないが、類似施設として基幹集落センターが地域にある。
		民間においても十分可能な施設なのか	公民館機能としては不可能。
	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうなのか	社会教育施設であり実費経費との比較はできない。
		同種施設との比較、近隣施設との比較はどうなのか	地域に根ざした利用をされている施設であるため一概に比較できない。
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどうなっているのか	
		施設の耐用年数は何年有るのか	不明。
		施設の今後の維持経費の算定はどうなのか	
行政規模からの判断視点	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	社会教育法に基づいて市が管理する施設。
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	今後統廃合の中で検討。
	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	検討中。
	施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	ない。
		老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	統廃合を検討。
		地域、民間に譲渡できないのか	今後の課題。
		施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	難しい。
	その他		

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立椎原公民館	番号	34
--------	----------	-----------	----	----

見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	社会教育法に基づく公民館。
	受益者負担の妥当性	現在改善中であるが、コストに見合った使用料設定は難しい。
	実施主体の妥当性	単なる会議室の貸し出しについては他施設でも可能であるが、公民館事業は行政の役割。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	統廃合の検討。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	講座や事業の充実が必要。
	執行方法の見直しなど効率化のための目標及び方策	ボランティアで活動してくれる、地域の指導者等を発掘し公民館活動に活かせないか検討中。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	貸し出し区分の見直しを図る。
調査等	市民アンケート調査等の結果	未実施。
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	

平成18年度事業内容及び見直し事項

事業内容	公民館講座(鯉のぼり揚げ、どんど焼き)の開催 地域の子ども会活動等の開催
見直し事項	地域のボランティア講師の発掘や自主事業化の推進 指定管理者制度導入についての課内協議

平成19年度

施設名(愛称名) 下田市立椎原公民館

番号 34

施設懸案事項

No.	懸案事項	改善経費	備考
1	耐震診断、補強未実施	未調査	
2	柱の部分修理	未調査	
3	外壁腐食修繕	未調査	
4	屋根瓦補修	未調査	
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

今後の方向性

今後の方向性	充実	(具体的な内容)
	効率化等による見直し 現状のまま継続等 縮小等による見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合を進める	